

■ 観光ボランティア協会の各部の紹介 ■

「研修部の事業」

研修部記

＜近江八幡市を観光されるお客さんを案内する＞

- ・ガイドさんの案内で、八幡の歴史がよくわかった。
- ・何回も八幡に来ているが今回ガイドさんの話を聞いて近江商人の生き方や「三方よし」の意味が分かった。
- ・ガイドさんは良く勉強しておられますね。

などとお客さんから褒めてもらえると嬉しくガイドとしての生きがいや誇りを感じるものです。

「研修部」は、このガイドさんが話される「ガイドマニュアル作成、話し方、ガイドのマナー、事故防止対策など」知識の涵養方法を考えたりするのが研修部の仕事です。

つまりボランティアガイドの心臓部と言っても過言ではありません、もちろんボランティアガイド協会にはいくつかの部分があり、それぞれ重要な仕事をされておられます。

＜具体的には＞

1、毎月1回研修部会を実施（年間12回実施）

- ・年間を通じて見えないものをどのように説明するか
- ・ガイドの問題点、新しい研修項目、座学講座

2、新入会員の為の研修

- ・先輩ガイドによる現地研修
- ・先輩ガイドに同行研修



(研修部会)

3、ボランティアガイド養成講座の現地研修



(2020年6月16日山頂ガイド研修)

4、安土城考古博物館内覧会の知識涵養

- ・毎年4～5回

5、近江商人の本家研修（西川甚五郎邸、伴家住宅など）

6、長命寺、長光寺などの現地研修

7、他府県ガイドの実態を知るための視察研修旅行

- ・年1回

8、近江八幡市民向け「ふるさと観光塾」の開催

- ・1月末から3月上旬の間に6回の講座などです。

「研修部」では、ご案内するお客様が近江八幡に来て良かった、また来たい、こんな街に住んでみたいと感じてもらえる案内ができるように日々努力しています。



(村雲御所瑞龍寺前で集合写真)